

特別号

アスムス ケアナビ CARE NAVI

還曆



還曆パーティーにて

在宅医療に輝かしい実績と功績を残され
日本を変える 医)アスムス 太田秀樹理事長
今後ますますのご活躍を祈念いたします



おやま城北クリニック開院当時(平成6年)



ひでき還暦までの軌跡



私は北関東とは無縁の奈良市で昭和28年に生まれました。奈良市本薬師という地名の所に旧家があって、北東は国宝の新薬師寺、南東に奈良市写真美術館があります。美術館は昭和40年代に開館したので、子供のころ、そこはジャングルのような遊び場でした。日本の歴史を探るには絶好の地だったのですが、その価値を感じることはありませんでした。

昭和47年(18歳)に高等学校を卒業し、医学部を目指しましたが受験に失敗し、京都で浪人生活を送ることとなります。奈良、京都は一緒に語られる傾向がありますが、京都で下宿生活を送ってみると、ティーンエイジャーの自分にも奈良との文化の違いを感じ取ることができました。

結局、第一志望の大学からは嫌われ、東京の私立大学医学部に入学することとなります。関西人というのは、そもそも東京への憧れはなく、しかし、勉強嫌いの自分にとって大学生になった開放感で、6年間の花の東京ライフを謳歌しました。

振り返ってみると、日本が最も元気なころに学生時代を過ごし、憧れのヨット部では、年間2ヶ月千葉県館山での合宿生活を送りました。6年間クラブ活動をやるとすると、2ヶ月×6年=12ヶ月ですので、結局1年間は学問することは一切無く、海で過ごしたわけです。潮風と紫外線で、髪は相当なダメージを受けたのでしょ。

そんなわけで、毎年落第すれすれです。ピーコン(再試験のこと：ドイツ語で二回来るという意味の略)の嵐。奇跡的に6年で卒業して医師免許を手にはしましたが、独学で医学部を卒業したようなものですから医学知識に自信がなく、麻酔科ならなんとかなるかもと、そんな軽い気持ちで麻酔科医となりました。しかし、毎日麻酔をかけていると、何か物足りなさを感じ、整形外科医を目指して自治医科大学にやってきました。昭和56年(27歳)のことでした。

ここからが、波乱万丈の人生です。何を血迷ったのか研究に興味をわき始め、自治医科大学で電気生理学を専攻。脊髄から脳波のような脊髄波を測定する仕事に没頭します。そのまま大学で医局長、講師と出世したのですが、再び転機が訪れます。身体障害者との海外旅行をきっかけに、動く医療や訪問看護をやるかと平成4年(38歳)におやま城北クリニックを開業しました。

当時絶滅危惧種であった出前医者は政府の保護政策で全国に繁殖し、在宅医療の時代がやってきたのですが、気がつくとなんと還暦(60歳)になってしまったという次第です。

今、日本でも高く評価される医療モデルをつくることのできたのも、アスミスをはじめ関連事業所の皆様のお力添えの賜物と感謝しています。

まだまだ、がんばる所存です。さらなるご支援宜しくお願い申し上げます。

医療法人アスミス 理事長 太田秀樹

太田理事長の還暦を祝って



人間誰でも、生まれて60年経つと、自動的に還暦を迎える。60年もの長い間、大きな病気も怪我もしないで、順調に生き延びてきたことは、十分寿ぐに値するおめでたいことである。

昔の人は、今より寿命が短かったから、還暦を迎えられる人の数も今ほど多くはなかったと思うが、今は大多数の人が還暦を迎え、長寿を祝うようになった。我がアスミスの理事長太田秀樹先生も、今年還暦を迎えられたお一人である。

太田先生の凄い所は、健康で長寿を享受しておられる傍ら早くから「在宅医療」に目をつけられ、その拡充のために事業をおこされ、着々と成果をあげられ、それが今では「アスミス」という立派な組織に結実していること、「在宅医療」という言葉も今では人口に膾炙するまでになっている、ということであろう。普通の人なら、生きてゆくのがやっとの60年間に、これだけのことを成し遂げられた太田先生は、大変に偉い人だと思う。

今後とも、お体に気をつけられて、高齢者の医療・介護に力を発揮して頂きたいと思う。

医療法人アスミス 介護老人保健施設生きいき倶楽部 施設長 飛田清毅

理事長還暦祝い



太田理事長、この度は、還暦を迎えられ、誠におめでとうございます。ライフワークとする在宅医療が大きな節目を迎える時期に一致して、人生の節目を迎えられることを、大変、感慨深く思います。

病院医療の本質を知り尽くし、患者の幸福を実現しない現実を前に、アンチテーゼとしての在宅医療に関心が向かったのではないかと思います。

アスミスで理想的な在宅医療を実現しただけでなく、熱心に普及に努められました。太田家のノブレス・オブリージュのなせるわざでしょう。一般の方はおろか、行政の担当者まで信者にしてしまい、今日の在宅医療興隆の事実上の脚本家となったわけです。

表立って声高に仰いませんが、後になって歴史を振り返った時、現在の在宅医療の基礎を作った人物として評価されると考えます。

そのような理事長の下で、働けることを大変誇りに思います。この上は、古希のお祝いが出るように、末永く健康でご活躍下さい。

医療法人アスミス 街かどクリニック・世田谷 院長 森山貴志

太田理事長が還暦を迎えられ



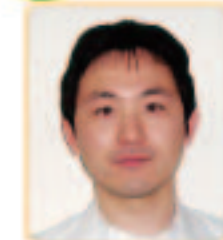
太田先生、60回目のお誕生日おめでとうございます。

これまでは仕事としても「区切り」のタイミングであったのかもしれませんが、現在の太田理事長のバイタリティー溢れる活動は決してそれに当るものでなく、むしろ、更に勢いを増しているとさえ感じています。

今後は、赤木事務長の言う「回遊魚」(止まると死んでしまう)である太田理事長がほどのペースダウンをして1年でも長く「地域医療のカリスマ」として小山で、日本で君臨していただくことを祈っています。

医療法人アスミス 蔵の街診療所 院長 福地将彦

太田先生60歳の誕生日



太田先生、60歳の誕生日をおめでとうございます。

この60年間で太田先生が造り、残されてきたものは、アスミスという法人の活動のみに限らず、日本社会における在宅ケアの文化でもあると感じています。これまでの成果に敬服し、さらなる発展を願っています。私たちアスミス職員は、その一員としての自覚を持ち、在宅医療・在宅ケアの発展に尽くしていきます。

太田先生は「市役所だったら定年だ」とおっしゃいますが、我々からすると、そして日本社会としても、太田先生には指導者としてご活躍いただかないと困ります。先日の記念パーティを見ても、アスミスの職員がいかにか太田先生を慕い、仕事にやりがいを持っているかが分かりました。私個人としても、太田先生から教わらなければならないことがたくさんあります。

これからも、どうかご健康には留意されて、理事長として、医師として、一市民として、様々な立場でご活躍下さい。

医療法人アスミス 生きいき診療所・ゆうき 院長 荒井康之